

第2回東金市総合計画審議会 会議議事録（要旨）

【日時】

令和2年3月27日（金）9:55～11:40

【場所】

東金市役所 第1委員会室

【議事内容（要旨）】

1 開会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ

2 市長あいさつ

- ・市長よりあいさつ

3 会長あいさつ

- ・会長よりあいさつ

4 諮問

- ・市長より会長へ諮問書の手渡し
- ・市長退席

5 議題

（1）東金市第4次総合計画（総論編・基本構想編）について

発言者	内容
事務局 （企画係長）	（「資料1 東金市第4次総合計画 総論編・基本構想編（総合計画審議会諮問案）」の「総論編」について説明）
会長	・通常、将来像から基本理念、施策の大綱と下りてくるところ、36ページに7つの課題を設定し、それを克服するための施策の大綱をつくり、横串の施策を2本たてて、これをまとめて基本理念に立ち返るとというのが説明のポイントだと思う。 ・何か、意見・質問があれば。
委員	・前半部分の東金市の現状がどうか、課題は何かという部分について、様々な地区、分野の人々の意見があり総括的には概ねこれ为好いと思う。 ・細かい部分、産業についての県との比較で、第一次産業が県より数%多いというのは、農業が強いとも言えるので、それらの強みと弱みをもっと踏み込んで好いと感じた。 ・自分の専門のインフラ、道路については、広域的に幹線道路も多

発言者	内容
	<p>く強みと言えるが、道路の利用が増えると鉄道の利用が減り、駅周辺が寂しくなる傾向がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市全体で人口が分散しているため、公共交通の強化を図ると、非常に金がかかる。住民にも、住み方や働き方、過ごし方を工夫してもらわないと、この課題の解決は困難。</li> <li>大学をはじめとする文教の部分は強みで、大学と市の連携については、両者間だけでなく、例えば他の委員の方にも知恵を出してもらおうとよい。新規に施設をつくるよりも、連携の仕組みや催し物を通じて、市の活性化を進めるアイデアを出してもらい、取り入れられるものは反映していくとよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日は基本構想の設定、具体的なことは今後と考えている。</li> <li>1点だけ気になること、市への愛着度について、13 ページの真ん中のグラフで「あまり感じていない」が 28.9%に対し、本文に「80 歳以上が最も高い」とあるので、グラフの「感じている」、「とても感じている」は、年齢の高い人と考える。若い人が、あまり東金市に愛着を感じていないのでは。そこから考えると、この地域で生まれ育った人が、一時的に都市部へ行くとしても、最終的にこの地域に戻ってきて暮らし続けるという視点が、全体的に欠けていると思う。外部からこの地域に来て子育てをする人については考えられているが、この地域で生まれ育った人が将来的に戻ってくるようにアピールしていくことをもっと取り入れた方がよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのほかに意見は。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民意見聴取のアンケートについて、回答だけだと意味不明なので、設問の掲載が必要。実施時期や調査件数も掲載する。地区懇談会についても、実施日時や参加人数を掲載すべき。東金市は豪雨災害で被害を受けたが、それ以降の意見聴取がないので、それ以前の意見とわかるようにしておくことが必要。商工団体、農業関係者についても実施時期を、U-30 についても何歳が何人だったかということを明記して。</li> <li>24 ページの市民会議からの提言、子ども・教育部会と産業・観光部会はアイデアを列記しているだけに見えるが、意見や思いを書くのが提言だと思うので、地域・交流部会のように意見や思いを提言として、アイデアはその上で書いた方がよい。東金マルシェやフォトロゲイニングも、知らない人が見たらわからないので、載せる必要があることなら丁寧に説明しなければならない。</li> <li>25 ページの若手職員プロジェクトチームについても、アイデアの列記にとどまっているので、6つの分野についての思いを提言</li> </ul>

発言者	内容
	<p>として言葉にし、それに加えて出たアイデアを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば、豪雨災害と今回のコロナを乗り越える市民の意見も聴取してほしい。</li> <li>・29 ページの課題4 の1 行目、「高齢者のための健康福祉・医療体制整備」に読めるが、市民全体に対する話だと思うので、高齢者を特記するのは違うと思う。</li> <li>・書いていないことだが、外国人の増加、障がい者福祉を考慮し、多様な人々の共生という視点が欠けているので、どこかで扱うことが必要。</li> <li>・豪雨災害について、千葉東金有料道路が通行止めになり、国道 126 号が東京方面の唯一のパイプとなり、詰まって困った。様々な手段で、東金が陸の孤島にならないようにしてほしい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かなり細かい指摘。これについて、事務局から意見があれば。</li> </ul>
事務局 (企画政策部参事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケートは令和2 年度も夏ごろまでに実施予定なので、そこで豪雨後の意識調査を取り入れたいと考えている。</li> <li>・表現の仕方について、足りない部分や必要な部分を再度精査して、今後示していきたい。用語解説についても、同様に対応していきたいと思う。</li> <li>・外国人や障がい者を含む多文化共生について、課題の中では記載が不足しているが、基本構想の中では位置づけることを想定していた。次回に検討をお願いしようとしていた基本構想の 39 ページの「4 まちづくりの基礎・土台」の中で位置づけようと練っていたが、十分踏まえているかという点ではまだ議論が足りないなので、今後議論を重ねたいと考えている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き意見・質問があれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手職員や大学生、高校生の意見を得ている。自分たちのような後期高齢者になっていく人の意見は、反省論になってしまうが、それよりも、高校生や大学生がなぜ東金に住めないかという意見の方が大事だと思う。企業がない、まちが活性化されていないということが言われるが、政令指定都市規模になるには相当の年数がかかるので、東京や千葉に出て行ってしまふのは止められない。自分も、親に「成人する頃には、田んぼがなくなっている」と言われたが、実際にはいまだになっていない。自分たちは、生涯の反省を踏まえて意見を出していくことになる。</li> <li>・農業の強み、50 年来の農業経験から言うと、当時は農業で年間 50 ～60 万円の貯蓄もできたが、今は、機械化と高齢化が進んで無理なので、企業が入ってくる必要がある。しかし、誘致をうたっても、基盤整備をしないと企業は入ってこない。大規模基盤整備に</li> </ul>

発言者	内容
	<p>対して政府は予算をつけているが、東金市が基盤整備に本腰を入れてまで農業に注力する気があるのかという意見が、農業従事者からは出てくると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の定住を考える上で、移住者を増やすことを考えるのか、市在住の人への施策を強化していくのか、方向性がまだ定まっていないので、分岐点に立っていると思う。4～5人の兄弟がいた自分の頃と比べて、子どもが少なくなった理由を若い世代に意見聴取してみてもは。</li> <li>・若い世代の意見に加えて、高齢者による自分の人生を振り返った反省の意見を聴取してみてもよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東金市に対する強い思い。ほかに意見・質問があれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画やプロジェクトの策定の機会は多々あるが、今までと代わり映えしない。強みは何かという点も詰めが甘い。この会議で何を審議すればよいかわからない。福祉、商業、公共施設と様々に盛り込まれているが、総花的。</li> <li>・2つ提案したい。委員を得意分野のプロジェクトに分け、それぞれで密度の濃い話をしてみては。</li> <li>・もう1点、若い人も含めて、東金を誇りに思える「東金モデル」、「東金は強みを活かしてこのようなまちづくりをしている、それを好きな人はどんどん集まってください、気に入らない人は出て行って結構」という「東金モデル」を考えられたらよいと思う。資料を見た限り、東金らしさは特に感じられず、地方で元気がなくなっているまちならば、同じ内容になると思う。若い人がもう一度戻ろうと思う地域には、いわゆるシンボルのようなものがある。「東金モデル」をつくって、他のまちに紹介できるくらいになるとよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程として、現在は総論や構想をつくり始めたばかり。委員の意見は、各論で重点施策として「東金モデル」をつくっていつてはどうかという話になると思う。</li> <li>・総合計画は、課題に対してトータルで盛り込んでいくという考え方もある。その中で、例えば、働く場や学ぶ場をつくるという考えから、20～30年前に市が数十億かけて、多数の反対にもめげず、城西国際大を誘致した。小野山田の区画整理も同じで、圏央道ができるということで、働き場をつくろうとして、財政的に苦勞しながら個別の計画として実施した。それらを束ねるのが総合計画。それらを実施するには、市長や議会、各所の合意形成が必要。すべてが総合計画で解決できるわけではないが、今の貴重な意見は、各論を「東金モデル」のように打ち出せるように色づけ、</li> </ul>

発言者	内容
	<p>コンサルがどこかで使った焼き直しのような計画ではなくしようということ。事務局は、参考にして各論を色づけてほしい。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長の今の意見に賛同。</li> <li>・総合計画は、6万人の市民の思いを、様々な分野、地域がある中で、全体的にすくい上げる必要がある。なおかつ、構想の部分は、残念ながらお経の文句になる。</li> <li>・全国的には、施策の一点集中型の計画もあり、成功している例もあるが、小規模な町村に限られる。東金市でそのような計画をつくるのかは疑問。</li> <li>・ただし、問題意識を個々に、全体的に、広域的に持ち、発言を恥ずかしがる気持ちを捨てて、具体的な議論をすべき。意見を出せるだけ出し、徹底的に議論し、最終的に判断して整理する。これは、次の段階の基本計画の部分となる。委員の意見は貴重で、狙いを定め、最終的に、とがった部分ができればよいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の委員と同様に、総論なので、総花的になるものと考えて。今後、事業を1つずつ検討する中で、東金市の特色が打ち出せるとよい。</li> <li>・大学が建って何十年かたつが、よく言われる「大学との提携」は何をしているのか見えてこない。</li> <li>・教育の立場の意見。今後、英語教育が始まる。大学生が小学校で生徒と一緒に遊んでいるという話は聞いているが、そのレベルでよいのか。もっと強固なタイアップを。「自然に囲まれて育った子どもなのに英語がペラペラ」というような既存のものと未来のものが融合すると素晴らしい。</li> <li>・秋田に就職率100%の大学がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城西国際大学より来ている。97年に大学に着任した。母の実家が東金で、サンピアができる前の東金を知っている唯一の教員。東金のよさを知っていると自負している。</li> <li>・「関係人口」という語を千葉県の人減少セミナーでよく聞く。住んでいないが、通勤・通学・買い物で来るような人口のことで、東金市の強い部分でもあると思うので、それを大事にする視点を施策に盛り込むとよいと思う。</li> <li>・大学には、北海道から沖縄までの学生がいる。「東金は、高校の人脈で動くので、出身を語りづらい」という学生の言葉があった。市の課長たちと話した際に、代表的な出身校の一角に城西国際大学が加わるようなまちにしてほしいと伝えた。学生たちも、東金の地元のコミュニティが昔ながらのものであることは知っている。</li> </ul>

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生は、日本全国、世界 23 か国から来ていて、例えば祭りに参加すれば、それを世界中に発信している。しかし、それが活かされているかについては、課題が多い。</li> <li>・大学も、資源を活用してもらい、市の発展に貢献したい。看護学部ができ、東千葉やさんむ医療センター、成田日赤から奨学金をいただいている。卒業後 4 年経ったところだが、そこで働いている卒業生たちが、都会の病院に行きたいとしないようにしていく。ここが住みよいということで残り、結婚して、子どもがまた城西国際大に入るというサイクルができればよいが、なかなかできなくとも、1 つずつ潰していくことで、かなり若者が残るまちなっていくのではないかと。大学でできることは、大学全体で協力するようにしていきたいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私が市役所に派遣されて仕事をしていた平成 9 年に、他地域から城西国際大に来て、卒業後市役所職員になった人がいる。そのような人が多くなって、城国が地元の大学として語られるようになるとよいと思う。</li> <li>・ほかに意見があれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 ページの潮流⑤、安全・安心について市町村でできることは限られると思うが、「新たな感染症」にも触れておいた方がよいのではないかと思う。</li> </ul>
事務局 (企画政策部参事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まさに最中ということで、文言も含め考えていきたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になった点を 2 点。市民等の意見聴取で、各企業や商店に勤めている人などの市外の人意見は取り入れているかどうか。外国人の意見は。城西国際大の学生の意見は入っていると思うが、市外の調査によって、新たな強みや弱みが浮かび上がってくるのでは。国・県・地域の視点があればよいが、物流や経済も動いているので、最初から市だけということになると、外からはおかしなことをしているように見える可能性が出てくる。広く聴取を行った方が、様々な意見が出てプラスになることも多いと思う。</li> <li>・もう 1 点、総論だから総花的になるのは仕方がないことには同意するが、各論の中で、市として今後やりたい目玉の施策が必要だと思う。今後、市長や職員の熱い思いが出てくるか、通り一遍になってしまうのかで、市民の見る目も変わると思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に貴重な意見だと思う。</li> <li>・生のアンケート結果は、資料編で整理していくと思う。これまでのアンケートで足りなかった部分は、次回のアンケートに委ねるかもしれない。</li> </ul>

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2点目の意見、委員の意見にもあるように、目玉は必要だという意見。様々な意見として、市の若手職員の意見も反映されていくし、最終的には、市長、市長局が目玉として打ち出したい重点的施策の強い思い、具体的な意見を原案の中で示してもらえれば、審議会では、その位置づけを考える議論をしたいと思う。</li> </ul>
事務局 (企画政策部参事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市外の人意見を拾うべきという意見について、市外から通学している高校生や大学生の意見は得ている。特に大学生は県内の通学者が多く、大学生アンケートとしてだが、市外の意見も聴取している。市外の視点を打ち出したアンケートは、現状行っていない。</li> <li>・ 目玉の施策について、基本構想で話していきたいと思っている。大学があること、圏央道の結節点であることから、他地域に比べて地の利があり、それを活かさきれていないと認識しているので、それらを出していかなければならないと思っている。特に、人口減少局面に入り、今後さらに進行する可能性も高く、これまでの計画づくり、進め方では難しいので、もっと目玉を出し、危機感を持った取り組み方をしなければならない時代になると思っている。それが、第3次の時代と大きく異なる部分で、活かせるものはどんどん活かすという考え方で進めていきたいと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課長の話と重複するが、様々な意見を聴取するのが非常に難しい中で、アンケートについては、聴取先などを工夫して行ったと思う。計画の目出しの部分として、人口が重要だと思う。「転入人口の増加や転出人口の抑制」、そのための「企業誘致」、「子どもを産み育てることのできる環境の充実」と、人口推計の箇所を書いてある通りで、何をしても人口が基盤となる。推計通りの人口を維持するのも大変で、そのためには、働く場を整えて転出を抑え、転入を増やして生活してもらう。アンケート内容にも、道路網と絡めて企業誘致の話が出ている。これが計画の中で推していってよい部分だと思うが、課題の中には明確に出ない。その後の計画には、事業として出てくる。手前の理念では、難しい言い方で触れている。流出の抑制と流入の促進、定着のための手段を、計画の中に明確に示した方がよいと思う。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口については、非常に貴重な意見。人口問題研究所が平成14年に出した県の人口は609万5千人がピークということだったが、現在は622万人。他県からとる、都心から戻るなどの施策、事業展開によって、人口は、必ずしも予想通りにはならないので、その意志を持って、総合計画に入れ込むのも重要だと思う。</li> </ul>

発言者	内容
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほかに意見は。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市原市から東金に勤務している。女性職員は東金市民が多く、昼休みなどに話を聞くと、電車の問題などはあっても、居住者のまちに対する満足度は高い。</li> <li>・職場の中でも、どうやって市をアピールしていくのかを考える。先日、東金九十九里マラソンの話があり、時勢から中止にはなったが、3,000人集まるイベントを組めた。本店で、マラソン大会の話題となったが、関心を持つ人が非常に多かった。マラソンに関心を持つ人たちは、全国を回る可能性が高く、1つのきっかけから様々な視点につながり、逆に、東金市の情報が拡散されることもある。企画することの影響は大きいので、各論の中で、人を集める企画を重視してみてもよいのでは。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論は尽きないが。本日は、非常に貴重な意見が出たので、1つ目の議事については、これくらいでとどめ、2つ目の議事に移りたいと思う。</li> </ul>

(2) 東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間の延長について

発言者	内容
事務局 (企画係長)	(「資料2 東金市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間延長について」について説明)
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これについて、意見・質問があれば。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏面の数字が出てくると、今日は基本構想の話のはずが、生々しく感じて、皆びっくりしているのでは。</li> <li>・総合戦略は、査定をして事業にお金をつけてくれるある意味ありがたい仕組みなので、市として活用してもらえれば。1の最後にあるように、総合計画に抵触しないのであれば、事務局で淡々と進めて、よほど心配なことがあったときに報告してもらえればよいと思う。</li> <li>・戦略の仕組み上、様々な計画にのっとしてという割には、30～50億円がすぐ出るわけではなく、大した金額にならない。ただし、役に立つものではあるので、あまりどうこう言わずに事務局に任せたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員から賛成の意思が。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この会議に出て、様々な委員から様々な視点の意見を聞き、勉強させてもらっている。大きな視点でものを見る大切さと細やかな視点での意見、総合的にこれからの市政を考えていく上で、広い視野を学んでいる。</li> <li>・総合戦略については、同意見。</li> </ul>



発言者	内容
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほかに意見はあるか。なければ、審議会としては、委員の意見に賛同するというでいかがか。</li> </ul>
委員一同	<p>(「異議なし」の声)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会としては、議題の(2)については、これ以上議論をしないということで、特に何かあればということ、事務局に投げかけられた宿題としたいと思う。</li> <li>・そのほか全体を通して何かあるか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な視点、東金モデル、外の人意見、目玉、若者と、大事な意見が出た。今日は焦点が当たらなかった40ページの「とうがね10年の経営重点戦略」、事務局は様々な意見を聞いて肉づけすることを想定しているが、総合計画の比較的早い段階で「経営」という言葉を打ち出したのは、非常に重要。まずは「やること」を総花的に打ち出し、元気のよい計画を立てた後で、何年後かに振り返って、あれもこれもできなかったということがよくある。個別の話はまだないが、イメージの中で、『稼ぎ・貯める』戦略と『活かし・伸ばす』戦略という視点は、とても重要と考える。</li> <li>・ハードは、非常に金がかかる。仕組みは、議員の先生にもんでもらい、問題があれば大いに議論してもらおう。ハートの部分は、皆でよくしていこうという支え合い。大学も連携してくれる。これまでお互いに遠慮していた部分で、もう一步踏み込んで議論する場面が出てくると思う。</li> <li>・「稼ぎ・貯める」という民間企業のような言葉が、市役所から出てきたことを大事にして、計画づくりに臨んでもらえるとよい。</li> <li>・売りとして、「活かし・伸ばす」部分、面積が広い中で、里山と市街地と田園エリアとあり、歴史があるなど様々ある。今後、とがった部分を売りとして出し、事務局は、「せつかく施策を打ち出したのだから磨いてもっとよくしてほしい」という気概を持って、遠慮せずに出してほしい。それをこの場で磨く。40ページは、大事な概念だと思うので、次回も話題にしていきたい。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に貴重な意見。事務局で、今の意見、今日の議論をトータルで次の審議会に反映してほしい。</li> <li>・議題はすべて終了。この場の議論以外に何かあれば、別紙の「意見・提案書」を事務局に提出してほしい。</li> </ul>

6 その他  
(特になし)

7 閉会

- ・事務局（企画課副課長）よりあいさつ